



あなぐるフレnds

ANAL FRIENDS



「おやおやあ～フレンズがお尻丸出しで誘って
るに何もしない気なんですかね～♡」

ほら、オスチンポ出せっ♡挑発に乗って溜め込
んだチンポ汁流し込みに来い♡

根性見せろっ♡



ズブリゅっ

「おっほおおお!!??♥」いきなりキタツ♥
んおおおお♥深いっ♥オスチンポいきなり
ケツの穴の一番奥に届かされたっ♥
オスチンポにケツの穴分からされるっ♥



ずりゅうう~~~~

「んひいっ♡ケツの穴めくれるっ♡」

ひどいっ♡ケツ肉引き伸ばされてるっ♡

壊れるっ♡ケツが壊されるっ♡

ヒトオスチンポにケツアクメさせられるっ♡



ぱんっ！ぱんっ！ぱんっ！ぱんっ！ぱんっ！
「おっ♡んぐびっ♡おうっ♡ゲツっ♡
イイっ♡おっ♡」すごいい♡ケツの穴が
熱いっ♡オス専用ケツアナにされるっ♡
ゆ、ゆるひてっ♡調子のりすぎましたっ♡



どぶっびゅるるるっぶりっびゅうううう！
「おへえええええっ♥出てるっ♥ケツの中に
オスチンポ汁出てるっ♥おっ♥おっ♥まだ
出てるっ♥熱いっ♥イクっ♥ケツの穴
マーキングされてイクっ♥」



とろお...ひくっひくっ...くぱ...

「はー...♥はー...♥ショウジョウトキちゃんのトロケツはどーでしたか?♥ヒトオスにしては頑張りましたねえ♥」やっべ♥気持ち良すぎて肛門が開きっぱなしになってる♥



「また溜まったらこのショウジョウトキちゃん
が」ぶりっ「おっほ!?!♥」

みちみち…ぶすっ

「ちょっとまって!?!♥なんでっ♥止まって♥」

やばいっ♥うんち止められないっ♥



もこっみちみちみちみち…ぶすっもりりっ
「んんんっ!!!♥だめっ♥止まって♥うんち
でるのヒトオスに見られるのなんてだめっ♥」
おっ♥おっ♥おっ♥だめっ♥肛門が敏感に
なりすぎて力入れると感じちゃうっ♥



「はあ!? 疲れと暑さがキンタマに溜まって
つらいからおっぱいで癒やしてくれって!?!」
まったく何いってんのこいつはもぉー…
しょうがないわねえわたしに感謝しなさい!
それにしてもクツサイオスチンポね…♡



ぴとっ…つぶう…♡

「んっ…♡そう…ゆっくり入れなさい…♡」

この子いっつも乳首の入り口で遊ぶの好き
ねえ♡わたしの乳首の中でしっかり締め付け
てやるんだから覚悟しなさいよ♡



によきっ

「…え!? セーバル!? なんてあんたまで…
いやそうじゃなくてなによそれ!? 頑張った!?
頑張って生えるもんじゃないでしょ!? どうなっ
てんのよ!? ちょ、ちょっと待ちなさい!!!」



ぴとっ♡ぐりぐりっ♡

「こらあ！待ちなさい！だめよ2本同時は！」
まずい♡本当に2本同時に乳首にオスチンポ
入れられたら頭ショートする♡食い止めない
と♡おっ♡押されるっ♡押し込まれるっ♡



ずぶりゅっ♡ぶぶっ♡

「んおっ!!♡ 入られたあ♡おっぱい両方ともオスチンポに乳首負けたっ♡」まずいっ♡挿入だけで腰が抜けそうになるっ♡おっぱいの中でオスチンポが脈打ってるのが分かる♡



ずるるるっ♡ぬぼおっ♡

「んびいいいいいい♡一気に引き抜くん
じゃないわよおおお♡」やばい♡絶対ヤバ
い♡おっぱいのお肉引っこ抜かれるような感
覚がすごい気持ちいい♡おかしくなるっ♡



ぬぼっ♡ぶちゅっ♡ぱちゅんっ♡ぬぶっ♡
「んおっ♡おっ♡おうっ♡いびっ♡」
こいつらっ♡あたしのおっぱいをオスミルク
タンクにするつもりだわっ♡おっ♡おっ♡
出されるっ♡オスミルクタンクにされるっ♡



どぶっ♡ぶびゅっ♡びゆるるるるっ♡

「お”お”お”お”お”来たああ♡チンポミルク
来たあ♡」びゅううう〜♡ぶびっ♡ぶっ♡
「ん”お”お”っ♡まだ出てるっ♡」イクっ♡
ミルクタンクにされて乳首でイクっ!!!♡



びくっ♡ごぷっ…♡とろお…♡

「あ、あんたちねえ～人の乳首同時にメチャク
チャにして広がりっぱなしじゃない！覚えて
おきなさいよ！♡」くっさいオスチンポミル
クまみれにしてタダで済ませないんだから♡



のしっ

「隊長さん・・・なんでわたくしと一緒にの時に他のフレンズさんを見てたんですか？」
今からわたくしの臭いをしっかり刻み込んで二度と忘れられなくさせて差し上げますわ！



「よいしょっ」どちゅっ♡ぶじゅるっ♡
どうです?♡今日はとても暑かったですから
わたくしのお尻とても蒸れてるでしょう?♡
ぐりっぐりっ♡わたくしのメスの臭い嗅いで
ください♡もう二度とよそ見させませんわ♡



びりっ「あらっタイツが…これは仕方ありませんね…♥」隊長さんの顔にお尻を押し付けてたらわたくし堪らなくなってきましたわ♥
お尻の穴がひくひく疼いて熱い…♥
「ねえ…隊長さん…舐めろ♥」



ぬちっ…♥ くちゅ…♥ ちろちろ…♥

「んっ…♥いいですわ…♥そう…お尻の穴のシワに沿って丹念にねぶりまわして…♥」
隊長さんが必死にお尻の穴にしゃぶりついてる姿、とても可愛いですわ…♥



つぶっ♡ぬこっ♡ぬちっ♡

「おう!?♡お尻の中につ♡許可してないっ♡」
気持ち良すぎるっ♡お尻の穴熱いっ♡舌が出入するたびに軽くイクっ♡おっおっ♡まだ出し入れしてるっ♡イクっ♡またイクっ♡



ぽかあ...♥「隊長さん、よくもやってくれましたねえ♥お尻が閉じなくなっていましたわ♥そんなにわたくしのお尻の穴が気に入ったんですの?♥」もっと♥もっと強いメスの臭いを堪能させて差し上げますわ♥



「口を開けてくださいませいまし♥」ぷす♥むりゅ♥

「聞こえなかったんですの？」

「口を開けろ」

隊長さんの口の中にマーキングしてやる♥

二度と忘れられない臭いを刻み込んでやる♥



みちっ♡みちちっ...♡むりゆりゆっ♡

「おっ♡おっ♡出るっ♡出ますわっ♡」

敏感になった肛門が擦れて気持ちいい♡

「隊長さんっ♡食べてっ♡」ふといっ♡隊長さんのお口にぶっというんち入っていくっ♡



ぶりゆりゆっ♡ ぷすっ♡ みちっ♡

「んんっ♡ どうです？♡ わたくしの臭い♡」

気持ちいいっ♡ ケツの穴ずっとビクビク感じ

続けてる♡ もっと♡ 隊長さんにうんち食べさせたい♡

臭いを刻み込みたいっ♡



ぶりゅっ♥べちやっ♥…ぷすっみちちっ♥
「おっ!?♥まだ来るっ♥固くてぶっといのま
だいっぱい出るっ♥隊長さん♥好き♥愛して
ますわっ♥だからっ♥うんち食べてっ♥」
好きっ♥好きいっ♥おっ♥おっ♥イクっ♥



めりめりめり…♡ ぷすすっ…♡ もりっ♡
「んおおおおっ♡イクっ♡うんちでイクっ♡
隊長さんの口にマーキングしてケツの穴でイクっ♡」覚えてっ♡わたくしの臭いっ♡わたくしだけのヒトオスになって♡



むわあ・・・♥「はあ・・・はあ・・・♥どうです？わたくしの臭い、刻み込めましたの？♥」隊長さんビクビク痙攣して気持ち良さそう・・・♥これでもうわたくしのものですわ・・・♥「愛してますわ隊長さん・・・♥これからずっと・・・♥」



「隊長さん・・・わたし、お尻の穴で交尾したいんです♥ヒトオスチンポを入れられてアへ顔晒して派手にメスチンポ汁出したいんです♥」
隊長さん専用のアナルペットになりたい♥
澄ました顔して実は淫乱だって教えたい♥



ぴとっ♡ つぶつぶ…♡

「隊長さんのオスチンポが入ってくる…♡」
まだ先っぽなのにととても熱い♡今から私のお
尻の穴の奥まで押し込まれてるって考えたら
金玉グツグツ煮えたぎっちゃう♡



ずぶりゅっ♡ぶびっ♡

「おほっ!?!♡」きたあ♡一気に肛門の奥までヒトオスチンポぬるっと押し込まれた♡キンタマに響くっ♡押し込まれただけなのに軽くイクっ♡熱いっ♡ヒトオスチンポ熱いっ♡



ずるっ♡ずるうう~~~~♡

「んん~~~~~っ!!♡」肛門が…ケツの穴
オスチンポに擦られるっ♡キンタマとメスチ
ンポがビクビクしてるっ♡気持ちいいっ♡
もっと♡もっとケツの穴気持ちよくしてっ♡



ずぷっ！♥ぬぼっ！♥ずちゅっ！

「おっ♥おぼっ♥おうっ♥」わたしっ♥ケツの穴でヒトオスと交尾してるっ♥腰が動いちゃうっ♥気持ちいいっ♥イクっ♥ケツの穴犯されてメスチンポ汁噴き出してイクっ♥



どぶっ！♡びゆるるっ！♡びゅうう〜っ♡
「ん”お”お”お”お”お”お”っ♡イクっ♡ケツの
穴にオスチンポ汁流し込まれてイクウっ♡」
メスチンポ汁どぶどぶ出てるっ♡
おっ♡おっ♡ 出てるっ♡まだ出てるっ♡



ぬぽっ♡ぶびっ♡

「おほっ!?♡」出されたっ♡ヒトオスにケツの
穴ズポズポされてオスチンポ汁お腹いっぱい
にされたっ♡キンタマからメスチンポ汁絞り
出されたっ♡ケツの穴ちから入んないっ♡



ぶびっ！♥ぶりゅりゅりゅ！♥

「んひいいいいい!!!???♥」だめえっ♥オス
チンポ汁噴き出しちゃうっ♥オスチンポ汁に
ケツの穴また犯されてるっ♥またキマるっ♥
オス汁噴き出してケツアクメキマるっ♥



むりゅっ♥みちみちっ♥

「おっほお!？」だめっ♥うんち降りてきたっ♥

うんちが顔だしただけでキンタマ響いたっ♥

見ないでっ♥うんちでケツアクメしちゃう♥

おっおっ♥だめっ♥うんち止められないっ♥



ぶりぶりぶりっ♡むりっ♡みちみちみちっ♡
「おっほおっほおっほ♡出てるっ♡うんち
いっぱいぢりゅっ♡見てっ♡うんちモリモリ
出しながらキンタマからメスチンポ汁ぶり
ぶり出してケツアクメしてるとこみてっ♡」



ぶぼおっ！♡「ん」おっ♡」

うんち全部出たっ♡最後勢いよく押し出して
脱糞ケツアクメきまった♡ヒトオスにうんち
出しながらケツアクメキメるところ全部見ら
れたっ♡狂うっ♡ケツの穴で頭こわれるっ♡



ひく…ひく…たぷっ…♡

「わたし、どうでした？隊長さん専用のアナル
ペットにしてもらえますか？♡」隊長さんのた
めならいつでもお尻の穴で交尾します♡だか
らこれからずっとお側に置いて下さい♡



更新内容:ビャッコのバランスが調整されました。 たぶん…たゆっ

「おおおお…見ろ！私の威厳が！四神の誇りが帰ってきたぞ！」…ぐぐっ

「ん…？何か様子が…」



ぐばっ♥ぐぐぐぐぐっ♥

「にゃっ!?」な、なんだ!? 胸がさらに大きくなって… **みちみちみち…♥**

「ううっまだ大きくなってる…!?」

熱いっ おっぱいが膨らむ毎に中で何かが…



ばるっ♡ぶるるんっ♡ぷるっ♡

「んほおおおっ!?♡にやんでっ!?♡おっぱいが
こんなに大きくなるのおっ!?♡」お、重いっ♡
おっぱいの中ミルクがグツグツ煮えてるっ♡
ミルクの熱で乳首が敏感になってるっ♡



ぶぼっ♡ぶびびびびっ♡ぶしゅうううっ♡
「んんんんんっ!!!ミルクでりゅっ!!!♡」
出てるっ♡私の特濃ミルクが牛のフレンズみ
たいにびゅるびゅる出てるっ♡乳首が熱い♡
母乳吹き出すだけでジンジン感じちゃうっ♡



めりっ！♡めりりっ…♡みちみち…♡
「んぐにゃおおっ!!??♡」なに？♡乳首を
押し広げてなにか硬いものがっ♡
ぐぐっ…♡めりめりめり…♡
んおおっ♡怖いっ♡おっぱい壊れるっ♡

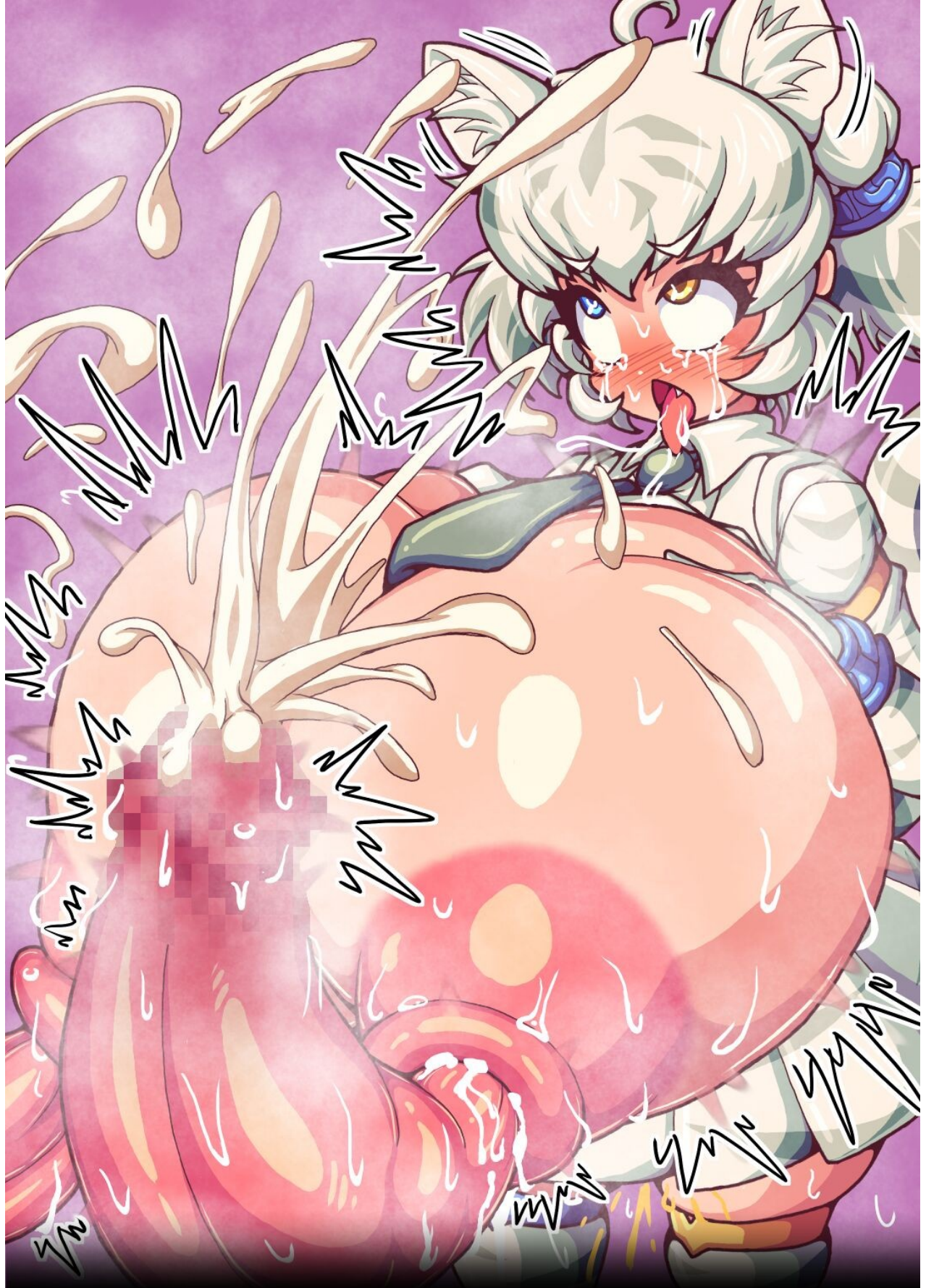


ぶりゅんっ！♡ずりゅりゅりゅっ！♡

「んびいっ♡なに、なにこれえ♡なにかおっぱいから生えてきたあっ!?!♡」

こ、これオチンポっ♡オスのオチンポだっ♡

にやんでメスの私のおっぱいからあっ♡



くるっ♡グツグツ煮えたものがおっぱいチンポに集まってるっ♡ダメっ♡出ちゃダメっ♡ぶびっ！♡びゆるるっ！♡びゅううっ～！♡「に`ャ`あ`あ`あ`あ`っ`♡イクっ♡おっぱいチンポからオス汁噴射してイクウウっ!!!!♡」



「はあ・♥はあ・♥…くっさあ♥オスちんぽ
汁くっさい♥」むわっ♥とろお…♥
わたし壊れちゃった♥もう四神として生きて
いけない♥キンタマおっぱいからオスちんぽ
汁吹き出してアクメキメる変態なんだ…♥



「どうしたのですか。ヒトオスのくせにメスがお尻の穴広げて誘ってるのに何もしないつもりなのですか？」

「天才でも溜まるものは溜まるのです。オマエはとっとと陰茎を挿入すれば良いのです。」



ずぶっ♡ずぶぶぶっ♡

「んおおおおおっ♡誰もそんな一気に奥まで入れていいなんて言ってないのですっ♡
おっ♡おっ♡そんなっ♡まだ奥にまでっ♡」
こいつっ♡調子に乗ってるのですっ♡



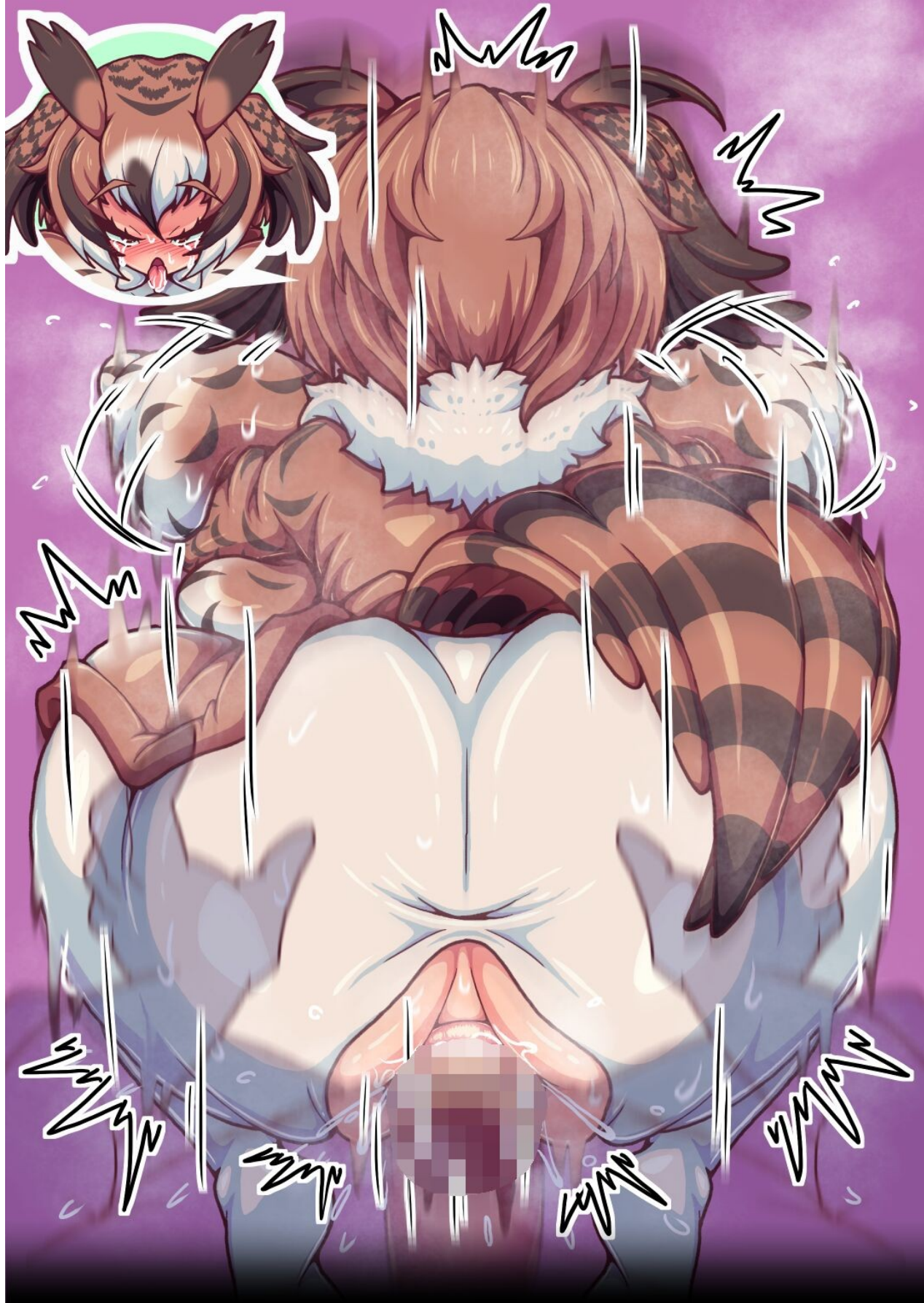
ずるるるるっ♡ずるうっ♡

「んん”お”お”お”お”お”お”お”お”っ！♡—

気に引き抜かれるうううっ♡」

お尻の穴がめくれてるっ♡お尻の中がヒトオ

スの形に変形させられてるっ♡



ぱんっ♡ぱんっ♡どちゅっ♡ぶっ♡ぶびっ♡
「おっ♡おっ♡おっ♡すごひのですっ♡
オスチンポにケツの穴かき回されて気持ちい
ひのですっ♡」やばいのですっ♡このままじゃ
天才のわたしがバカになるのですっ♡



どぶっ！♡びゆるるっ！♡びゅううっ！♡
「ほ”お”お”お”お”っ！！♡ケツの穴でイクッ♡
イクイクウウー——！！♡」
びゆるるっ♡ぶびっ♡ぶびびっ♡
んおおっ♡熱いっ♡ケツの穴で妊娠するっ♡



ぬぼっ♡「ほおうっ!?!♡」ぶっ♡ぶばぼっ♡
「んおおおっ♡ケツの穴に力が入らないので
すっ♡ケツの穴からオス汁噴射してしまうの
ですっ♡」見られてるっ♡オス汁噴射してケツ
アクメ感じてるところ見られてるっ♡



ぶっ！♡めりっ♡みちち…っ♡

「きたっ♡きたのですっ♡みてっ♡天才がヒトオスにうんち出るところ見られてケツアクメするところ見てっ♡誰にも見せたことがない恥ずかしい姿見せてバカになるとこ見てっ♡」



めり...めりり...♡むりりりりっ!♡

「ん`お`ほ`お`イクウウウーっ!!♡」出る出
る出るっ♡気持ちいい♡ぶっというんち
見せてケツアクメキメるのたまらない♡
狂うっ♡もういい♡バカになっていい♡



めりりっ！♥ぶぼおっ！♥「おっっ!!!♥」
ヒトオスにケツの穴犯されてオス汁浣腸から
強制脱糞させられてケツアクメきまったっ♥
もうかしこい助手じゃいられないっ♥これか
らはヒトオス専用ケツ穴オナホなのですっ♥



くぱっ……♡とろお……♡

「はぁ…はぁ…♡よくも好き勝手にやってくれたのです♡絶対絶対に許さないのです♡」これからは助手専用ケツアナ交尾チンポにしてやるのですっ♡覚悟しておくのですっ♡



「はあ・・・誰も見てないかな・・・？ 元がオスだと性欲の処理も一苦労だねえ」
キンタマもパンパンだしメスチンポもこんなにビンビンになっちゃったよ・・・こんなところ他の子に見られたらはお終いだよ・・・



ぬこっ♡ぬこっ♡

「あっ…♡んっ…♡はぁ…♡」メスチンポ
ずっといじってなかったからすごく気持ちい
い…♡ キンタマきゅんきゅんきてる…♡
チンポ汁登ってきてるの感じる…♡



ぬこっ！♥ぬこっ！♥ぬこっ！♥

「…たいちょおっ♥たいちょおすきっ♥たい
ちょおのおちんぽケツの穴にいれてっ♥」
おかずにしてやるっ♥ヒトオスのくせにわた
しをケツマンコにしかみてないへんたいっ♥



びくっ♡びくっ♡びゆるるるるるっ!!♡
「んんんんっ!!!♡出るっ!!♡出てるっ♡
メスチンポ汁噴き出してイクッ♡たいちょお
にケツの穴脳内で犯されてイクッ!!!♡」
ぶびびびっ♡びゅううう~~~~っ♡



ぬちよ…♥とろお…♥

「はああ…くっさあ♥チンポ汁くっさあ♥」

膝がガクガクする♥キンタマの中身空っぽに

なるまでメスチンポ汁噴射アクメしたっ♥

「たいちよお…♥すきい…♥」



…かたんっ「ふえっ!?だ、誰…隊長…!!??
何時からそこに…え、ずっと見てた…?」
そんな見られた…!? こんな恥ずかしい姿を
大好き隊長に見られた!? 嫌われるっ! こんな
ひどい姿、探検隊から追い出されちゃうっ



ごぼおっ♡「ほっほおおお!?!♡」

な、なんでっ♡ キンタマが急に煮えたぎって
チンポ汁作り始めてるっ♡まだ隊長が見てる
のにいっ♡おっ♡おっ♡おっ♡だめっ♡興奮
してきたっ♡ちんぽしごきたいっ♡



ぬこっ♡ぬこっ♡ぬちっ♡…ぶりゅっ♡
「ぼ〃お〃お〃お〃おっ♡ケツっ♡ケツの穴も来
たあっ♡うんちっ♡うんちも出るっ♡」
「みてっ♡たいちよおっ♡うんち漏らしながら
メスチンポしごいてイクとこみてっ♡



びゅるるるっ♡ぶりっ♡ぶりゅりゅりゅっ♡
「ん”お”お”お”っ!!!♡イクううーっ!!!♡」
キンタマからメスチンポ汁押し出されるっ♡
ケツの穴がうんちに犯されてるっ♡隊長っ♡
みてっ♡変態な百獣の王の姿みてっ♡



「ねえ隊長、ボク知ってるよ♥ギンギツネとイケないことしてるの♥」

「ギンギツネに内緒にするからボクにもお浣腸してほしいな♥お腹いっぱいお水貯めて隊長にボクの恥ずかしい所見て欲しい♥」



つぶっ♥ちゅうううう……♥

「んっ♥冷たい♥はああ……入ってくる♥」

ちゆるるるるっ♥ちゅうう~~~~♥

「はああ♥苦しいけど気持ちいい♥お尻の穴
ゾクゾクする♥」



ぐるる……♡きゅうう……♡

「はぁ…はぁ…♡お腹いっぱい入っちゃった…♡」これスゴイ♡お腹の中グルグルしてるのに奥のほうが熱い♡今からボクお尻の穴から噴射するところ見られちゃうんだ…♡



つぶっ…♥ちゆるっ…♥

「えっ!?ちょっとまって…!!」だめっ♥もうコレ以上入らないっ♥ボクのお尻とお腹壊れちゃうからあっ♥止めないとっ♥入れられたらボク頭おかしくおかしくなっちゃうっ♥



ちゅるるるるっ♡ちゅうううう~~~~っ♡
「ん〃お〃お〃お〃お〃お〃っ!?!♡なんでえっ♡
ダメって言ったのにいいいいっ♡」
ぎゅるるるるっ♡きゅうううううっ♡
お腹一杯なのにすごいっ♡気持ちいいっ♡



ぶりゅっ!!♥ぶしゅううっ!!!♥

「お”お”お”お”お”お”っ♥出るっ♥お尻の穴
からっ♥お水いっぱい出てるよおおっ♥」

ぶりっ♥びちちっ♥ぶりゅりゅっ♥

♥うんちもてきたっ♥肛門おかしくなるっ♥



めりっ♡みちみちっ♡ぷすっ…♡

「んんっ♡きたっ♡ボクの肛門に太いのきたっ♡隊長みてっ♡ボクの恥ずかしいところいっぱいみてっ♡」お水で敏感になった肛門をうんちで広げられるの気持ちいい♡



めりめり…ぷすっ…♥…むりりりっ!!!♥
「ほ”お”お”お”お”お”っ♥でるうううっ♥う
んち一気に出てりゅっ!!!♥イクっ!♥ケツの
穴うんち出るとこ見られながらケツアクメし
ちゃうっ♥みてっ♥変態なボクを見てっ♥」



むりりりっ♡ぶぼっ♡

「ほおおっ♡一気に出たあっ♡ケツの穴気持ち良すぎてパクパク開いてるっ♡」

すごいっ♡お浣腸でケツの穴バカになった♡
まだお腹の奥がジンジンしてるっ♡



ぴとっ♡ぐりぐり…♡

「えっ!?!♡まってっ♡今お浣腸とうんちでお
尻の穴敏感になっちゃってるからあっ!!♡」

やばいっ♡今ヒトオスのチンポなんて入れら
れたら絶対狂うっ♡ ……でも…欲しい…



つぶつぶ…ずぶりゅっ!!!♡

「ん”お”お”お”お”お”っ!!?♡待ってって言ったのにいいいいっ♡」一気に一番ケツの穴の奥まで押し込まれたっ♡敏感になってるケツの中押し広げられて頭までしびれるっ♡



ずるるるるっ!!!♥

「ほ”お”お”お”お”っ♥引き抜かれるの気持ち
いいいいいいっ♥狂っちゃうっ♥待ってえ♥
このままケツの穴で交尾したらあたまおかし
くなっちゃうからあっ♥」



ずこっ!♥ずりゅっ!♥ずぶっ!♥ぶりゅっ!♥
「おっ♥おっ♥おっ♥ケツっ♥いいっ♥
ケツの穴っ♥みてっ♥ケツの穴ズコズコされ
てアクメ顔キメてるボクをみてっ♥」
だしてっ♥ヒトオスのチンポ汁ほしいっ♥



どぶっ!!♥ぶびゅっ!!♥びゆるるるるるっ!!♥
「ん”お”お”お”お”お”っ!!♥ヒトオスのちんぽ
汁来たあっ♥チンポ汁浣腸でイクっ♥ケツア
クメ顔みてっ♥ケツの穴ビクビクさせながら
チンポ汁タンクになってイクボクをみてっ♥



ギリッ…ギリリッ…

「くっ…このわたしがセルリアンに捕まってしまふなんて…！なんとか脱出しないと…」

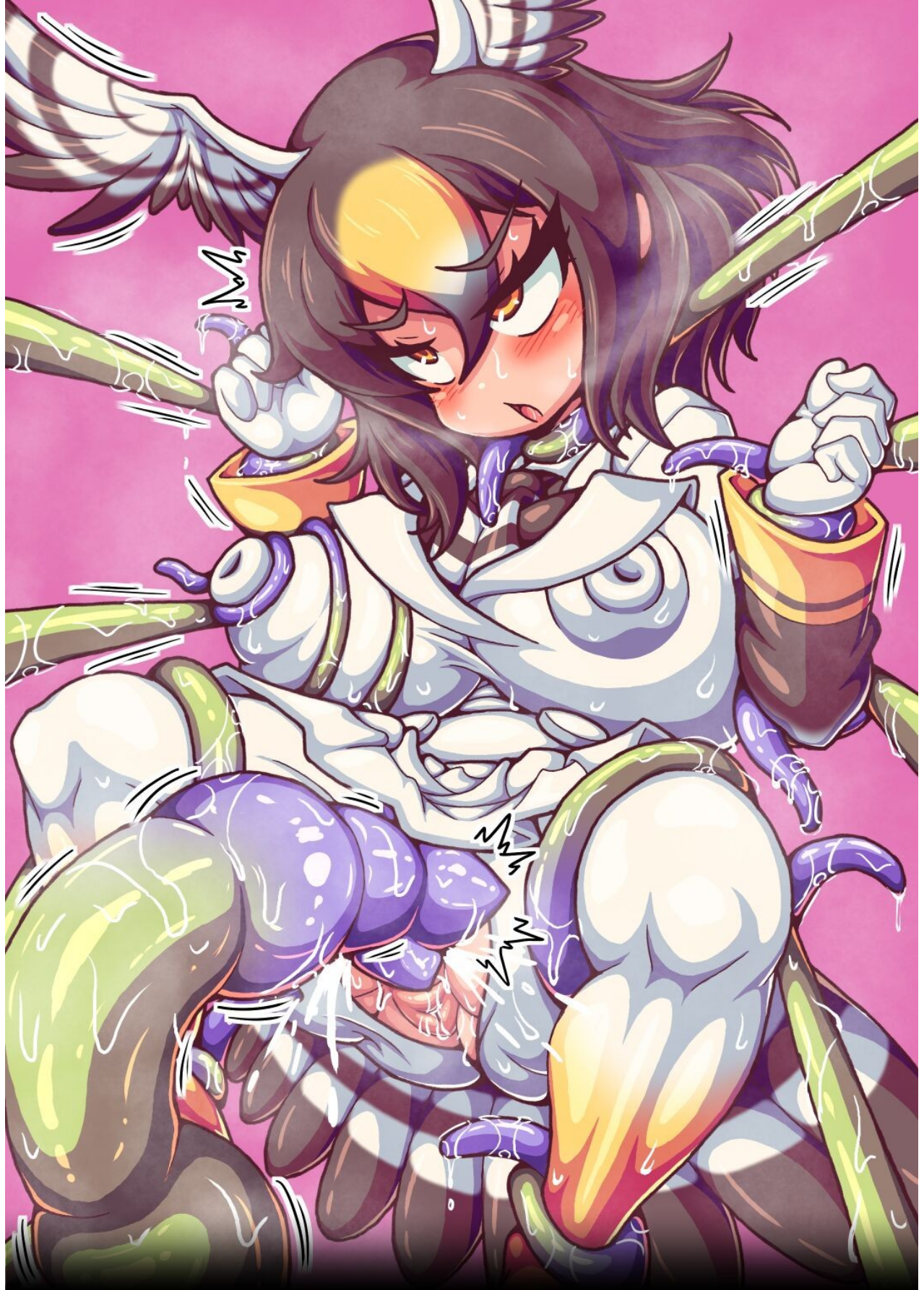
ずる……にちゃ……くぱあ……

「こいつ何する気!? 離されなさい！」



しゅるるっ！べちゃっ！

「ひゃっ！このっ！なんてところに張り付いてんのよ！」まずいわ…こいつメスの大事なところに何かするつもりだわ！なんとかしないと… ああっ中で何か蠢いてる…！



「このっいい加減に・・・」ごぽっ「ほおっ!?♥」
ごぽっ・・・ごぽぽっ・・・「なにっ?♥なにか送り込まれてるっ♥何をされてるのっ!?♥」
どくっ・・・どくん・・・ごぽっ・・・「んおおっ!!♥
熱いっ♥やめっやめなさいよおおっ♥」



にちゅっ…ずるる……ぷるんっ

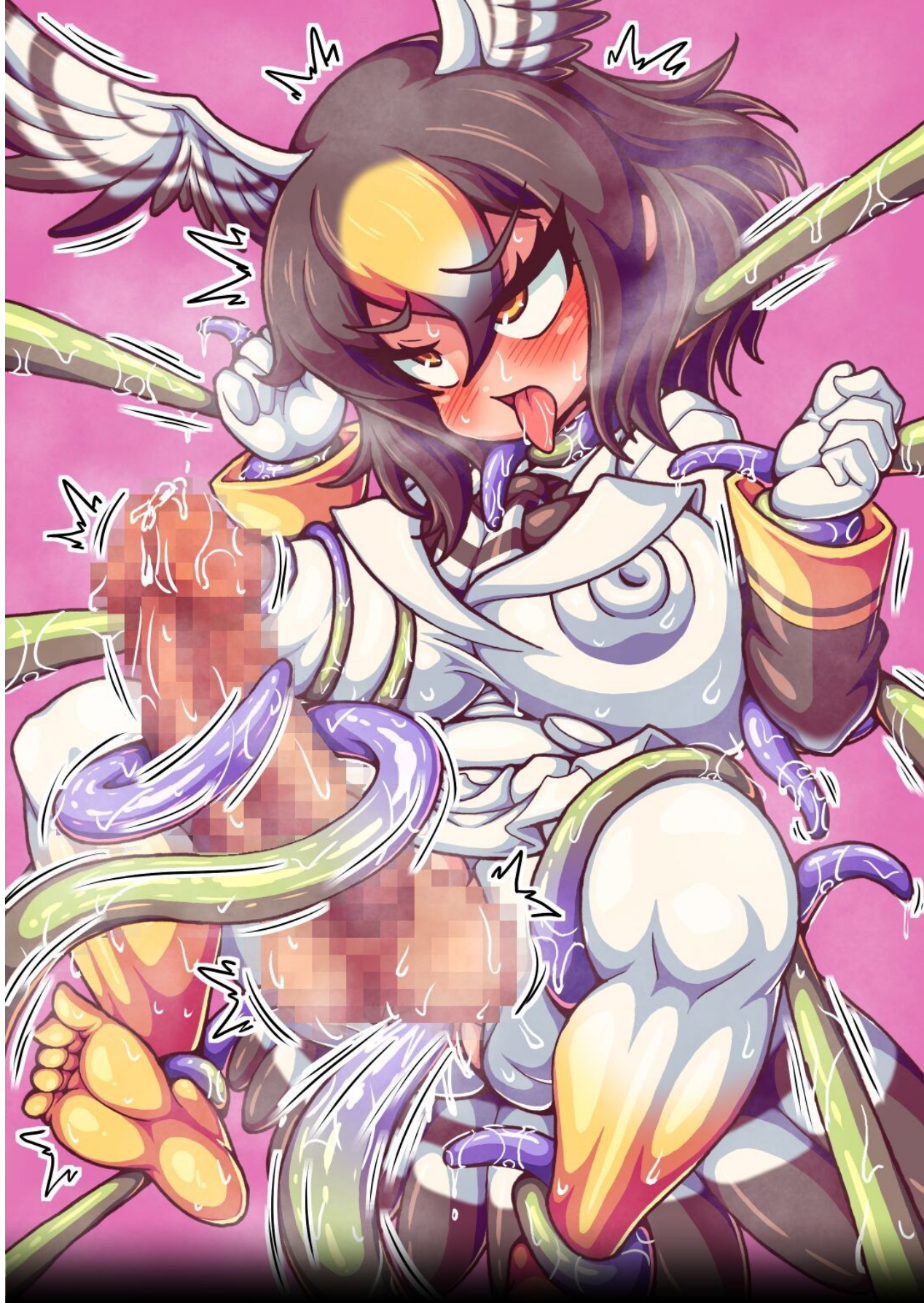
「えっ…？」ずる…ずるる…「ちょっと…

そんなこれって…オスの…？」

落ち着いて、クールになりなさい、そんなはず
ない、そんなはずないから…！



ずるるっ…ぶるんっ♡「ほおおっ♡やっぱりオスのっ♡オスのおちんぽっ！♡なんでっ!?!♡」こ、これっちゃんと感覚があるっ♡おちんぽが体に完全に一体化してるっ♡ガチガチに固くてビクビクしてるのがわかるっ♡



しゅるるっ…ずぶりゅっ♡

「おうっ!?♡お尻の穴にいつ♡このっ♡やめっ
やめろおっ♡」まずいわっ♡今お尻の穴を刺激
されたらまずいつ♡お尻に力入れてこいつを
止めないとっ♡キンタマに響いちゃだめっ♡



しゅるるっ…ぎゅっ♡

「ひいっ♡オスチンポに触手がっ♡」

にゆる…にゆる…ぬちゅ…♡

「あひっ♡あっ♡やめっ♡ゾクゾクきちゃうからあっ♡」だめっ♡お尻の力が抜ける…っ♡



にちゅっ!!♥ぬちゅっ!!♥にちゅっ!!♥

「んひっ♥おっ♥おっ♥だめっ♥いいっ♥」

ぐぐっ…ずぷんっ!!♥「ほおおっ♥お尻の穴
の力があっ♥」ずぷっ♥ぷぽっ♥ぶびっ♥

「すごいっ♥お尻とオチンポすごいっ♥」

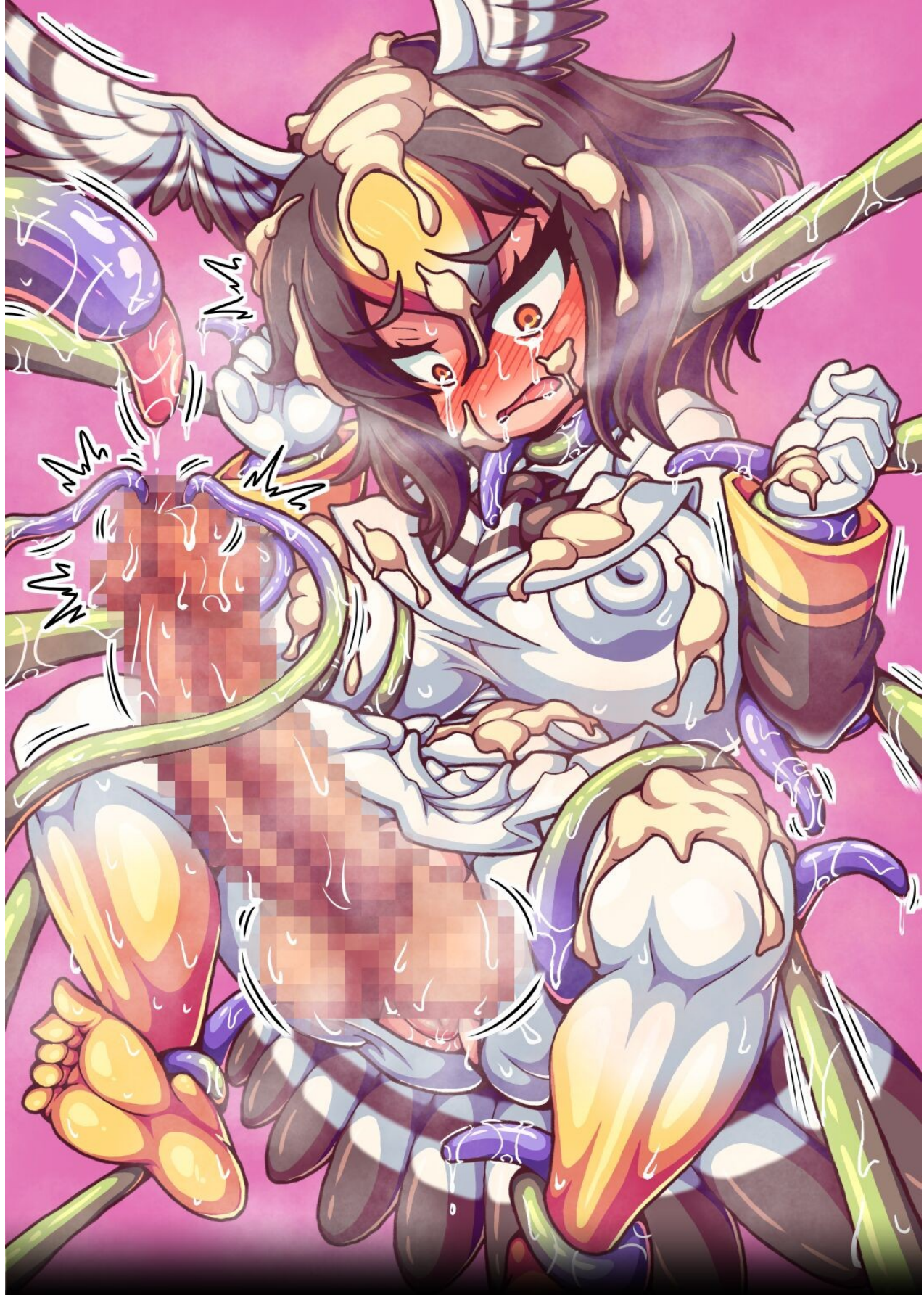


ぬこっ♡ぬこっ♡ぶびっ♡ずぶっ♡ぬちゅっ♡
「おっ♡おっ♡イクっ♡ケツの穴犯されながら
チンポしごかれてキンタマビクビク来るっ♡」
びゅるるるっ！♡びゅううう~~~~っ！♡
「ほ”お”お”お”お”っ!!♡い”く”う”う”っ!!♡」



どろ……っ♡むわあ……っ♡

「はぁ…はぁ…♡ううっ♡オスくさい……っ♡」
イツちゃったっ♡メスなのにケツの穴犯され
ながらオスチンポしごかれてびゅるびゅるオ
ス汁噴射してアクメキメちゃった…♡



しゅるるっ♡ぐりっ♡みちち…っ♡

「ひっ♡まだなにかする気なのっ!?!♡」

ずる…にゅうう…っ♡「そ、そんなっ♡まさ

かオチンポの先から中にっ!?!♡」そんなっ♡

中から犯されたらどうなってしまふのっ!?!♡



めりっ♡ずぶずぶっ♡「ほ”お”お”お”っ!？」
きたあっ♡オチンポの中につ♡触手があっ♡
ずこっ♡ぬぷっ♡めりっ♡めこっ♡
「ほ”お”お”っ♡やめっ♡中からオチンポしご
かないでえっ♡」これだめっ♡狂うっ♡



ずこっ♡めりっ♡めこっ♡めこりっ♡

「ふぐっ♡ふひっ♡おっ♡おうっ♡んひいっ♡」

こいつっ♡触手をどんどんオチンポの奥まで
押し込んできてるっ♡ゾクゾクするっ♡キン
タマにビリビリ来てるっ♡気持ちイイっ♡



めちっ♡みちっ♡めこっ♡ぬこっ♡ぶぼっ♡
「おうっ♡おほっ♡いひっ♡狂うっ♡狂っちゃ
うよおっ♡」一番底まで来たっ♡こいつっ♡
分かったっ♡キンタマ目指してるっ♡キンタ
マ孕ませる気だっ♡キンタマ壊されるっ♡




ごぼ……っ♡ごぽぽ……っ♡どくんっ!♡

「おへええっ!!♡来たっ♡孕まされるっ♡キン
タマに種付けされるっ♡」怖いっ♡助けてっ♡
でも…気持ちいいっ♡触手から何か流し込ま
れてオチンポ中から犯されてるのすごいっ♡



ごぽぽ・・・っ♡ごぶんっ!!♡

「ほ”お”お”お”お”お”お”お”っ!!!♡キンタマ
種付けされてい”く”う”う”う”う”う”っ!!!♡」
オスチンポすごいっ♡キンタマ煮えてるっ♡
戻れないっ♡ずっとこのままで居たいっ♡



この触手プレイはセーバルが
がかなりお好きにコピーした能力
を利用した、性感プレイなので
とても安全です。



ごぽぽ…っ♡ ごぶんっ!!♡

「ほ”お”お”お”お”お”お”お”お”っ!!!♡キンタマ
種付けされてい”く”う”う”う”う”う”っ!!!♡」
オスチンポすごいっ♡キンタマ煮えてるっ♡
戻れないっ♡ずっとこのままで居たいっ♡



そんな能力に身のおぼえが
ないという顔のバチよん



ごぽぽ…っ♡ごぷんっ!!♡

「ほ”お”お”お”お”お”お”お”っ!!!♡キンタマ
種付けされてい”く”う”う”う”う”う”っ!!!♡」
オスチンポすごいっ♡キンタマ煮えてるっ♡
戻れないっ♡ずっとこのままで居たいっ♡



「隊長さんたち今日もおつかれさま♥」

ぷるっ♥ぷるんっ♥

「はい、わたしのおっぱいでたまった疲れをとりましょ♥隊長さんたちのオス臭いオチンチン早く見せてちょうだい♥」



ぴとっ♡くりくりっ♡

「あんっ♡慌てないで大丈夫よ♡ゆっくり乳首の入り口に合わせて♡」さきっぽオチンポでくりくりされるの気持ちいい…♡

もっと♡もっと乳首のさきっぽいじって…♡



ずぶりゅっ♡ぶびっ♡

「ほおおおっ!?♡いきなり奥までえっ!?♡」
おっぱいのお肉つぶしながらオスチンポー
一番奥まで押し込んできたあっ♡おっぱいから
頭のとっぺんまでしびれるっ♡



ずるうううっ♡

「んおおおおっ!!♡一番奥から一気にさきっ
ぽまで引き抜きちゃだめええっ♡」

おっぱいのびちゃうっ♡オスチンポにおっぱ
い伸ばされるっ♡乳首も伸びちゃうっ♡



ずぶっ♡ずるっ♡じゅぶっ♡ぬぶっ♡

「おっ♡おうっ♡おほっ♡んおっ♡」やばいっ♡
私のおっぱい壊そうとしてるっ♡オスチンポ
ミルクタンクにされるっ♡されたいっ♡私を
オスチンポミルクタンクにしてっ♡



どぶっ♥びゆるるるるるる〜〜〜っ♥

「ん”お”お”お”お”お”っ♥きたあっ♥オスチン
ポミルクおっぱいの中にいっぱいっ♥」熱いミ
ルクいっぱい流れ込んでくるっ♥イクっ♥ミル
クタンクにされてイクイクイクウっ♥



ずるる…ちゅぽんっ♡

「ほおうっ!?♡い、イツちゃったあ…♡隊長さんたちのオスチンポミルクいっぱい…♡」
おっぱいが重いつ♡臭くて熱いチンポミルクがおっぱいのなかでグツグツしてるっ♡



ぶっ♡ぶびびっ…♡ぶびっ♡

「んひいっ!?!♡そんなっ♡漏れちゃうっ♡せっ
かく隊長さんが出してくれたオスチンポミル
ク噴き出しちゃうっ♡」やだっ♡漏らしたくな
いっ♡チンポミルクタンクになりたいっ♡



ぶばっ!♥ぶびびびっ!♥ぶびゅううう~っ!!♥
「ん`ほ`お`お`お`っ!!?♥でるうううっ!!!♥イ
クっ♥おっぱいミルクとオスチンポミルクミ
ックス噴射していくうううっ!!!♥」すごいっ♥
ミルク噴射で乳首ビクビクしてるっ♥



ぷるっ♡とろお…♡

「はひっ…♡はぁ…♡ごめんなさい♡隊長さんたちが出してくれたチンポミルク全部漏れちゃったわ…♡だからまた…ね♡わたしをチンポミルクタンクにしてちょうだい♡」



ふりっ♡ふりっ♡

「じゃじゃ～ん♡レアキャラオカピの魅惑のお尻だゾっ♡」

「隊長さんは運がいいねえ♡魅惑の美尻をじっくり堪能してねっ♡」



がしっ！ぐぐぐ…っ

「おやあ～？ そんなにがっついてやっぱり魅惑のお尻を見てるだけじゃ我慢できなくなったかな？♥」隊長さんすっごい興奮してる♥お尻の穴に熱い息が当たってる♥



ぬちっ♡れろおっ♡

「んひいんっ♡まだ舐めてもいいなんて言っていないのにっ♡」お尻の穴擦り上げられて気持ちいいっ♡隊長さんの舌熱いっ♡もっと♡もっとお尻の穴舐め回してっ♡



みちちっ♡ぬるんっ♡

「ほおっ♡隊長さんの舌ちからづよいっお尻の穴跳ね上げられちゃうっ♡」これ舐め回してるんじゃないっ♡お尻の穴ほぐして広げようとしてるっ♡お尻の穴とろけるっ♡



ぬちっ♡めりっ♡くちゅっ♡ぬこっ♡めりっ♡
「おっ♡おほっ♡んひいっ♡こっ肛門っ♡肛門
がおかしくなるっ♡」肛門ねぶり回されて力
抜けるっ♡肛門がビクビク感じて気持ちいい
って悦んでるっ♡



ずぶりゆりゆっ♡ぶびっ♡ぬるるっ♡

「ほおおっ!?♡舌がっ♡肛門の中に隊長さんの舌が入ってくるっ♡」そんなっ♡肛門の中までじっくり味見されるっ♡肛門のちから抜けて押し返せないっ♡滅茶苦茶にされるっ♡



ぐりっ!♥ぐちゅっ!♥ぶびっ!♥ぐりっ!♥
「んびっ♥おっ♥おほっ♥狂うっ♥ケツ
の穴こねくり回されて頭おかしくなるっ♥
イクッ♥ケツの穴中からねぶり回されてイク
ウウウウウ!!!♥」



ぬぽっ♡ぽかあ・・・♡ひくっ♡ひくっ♡

「はあああ・・・隊長さんの舌だけでケツの穴
とろけちゃった・・・♡」一番恥ずかしいところ
ほじくり回されたのに気持ちよすぎて力はい
らないっ♡開きっぱなしになってるっ♡



もりゅっ♡ぷすす…♡みちっ♡

「んひいっ♡そんなっ♡だめっ♡見ないでっ♡」

だめっ♡うんち出るところなんて驚掴みにし

ながら見つめないでっ♡「おっ♡おっ♡止まっ

てっ♡うんち出てこないでっ♡」



ぶびびっ♡ぷすっ♡むり…っ♡みちちっ♡
「んんんんっ♡だめえっ♡うんち止まんないっ♡」ケツの穴ちから入れるとうんちと擦れて全身ビクビク来ちゃうっ♡止まんないっ♡
気持ちいいっ♡うんちすごいっ♡



むりゅりゅっ♡ぶびびっ♡みちちちっ♡
「ほおおおっ!!!♡いぐううう!!!♡」
「見てっ♡ぶっというんち出るとこ見られな
がらケツの穴でイクとこみてっ!!!♡」
狂うっ♡ケツの穴で狂うっ♡バカになるっ♡



ぶりゆりゆっ♡ぶっほおっ！♡

「ほおおっ♡全部でたあっ♡」ケツの穴全部味
わい尽くされたっ♡ケツの穴も頭の中もトロ
トロにされたっ♡決めたっ♡今日から隊長さ
ん専用ケツ穴オナホになるっ♡逃さないっ♡

この度はAMAINU屋の作品をご購入いただきましてまことにありがとうございます。
ございます。

前回と打って変えて漫画から紙芝居形式に変更して様々なアニマル
ガールの痴態を描いてみました。

もしもあなたの股間にドストライクであったらうれしく思います。

この作品は支援サイトで先行で制作・公開を行ったものをまとめたもの
です。

今後もそちらで活動を行っていきますのでよろしければご来場いただけ
たらと思います。

LainDog

https://twitter.com/LainDog_2nd Twitter

<https://laundog.fanbox.cc/> pixiv fanbox

<https://fantia.jp/fanclubs/4722> Fantia

この本は個人的に作られたファンブックです。

公式の制作会社・出演者様・その他関係者様とは一切関係がありません。

内容に関してはフィクションであり、実在のものとは一切関係がありません。

この漫画の著作権は AMAINU屋 / Laindog にあります。

この漫画を AMAINU屋 / Laindog に許可なくインターネット上にアップロードする行為は犯罪で
す。(著作権法23条)

10年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両方が同時に科せられます。(著作
権法第119条第1項)

WARNING:

The producer of this WORK(Book and Do-Jinshi) has not permitted following,

- ・Reproduction of this WORK.
- ・Making of all of means of copies of this WORK.
- ・Resale of this WORK.
- ・This WORK is done in the scanning and uproad to the Wired network
(The Wired network includes SNS・P2P and etc.).

The producer of this WORK prohibits sharing the WORK by the Wired
network and the resale.

あななるフレンズ

ANAL FRIENDS